

Professional Fidelity



Director Mk2 – 日本語マニュアル

DA Converter and Preamplifier

このマニュアルはAcrobat Reader
に最適化されています。

インタラクティブボタンは他のア
プリケーションでは表示されませ
ん。



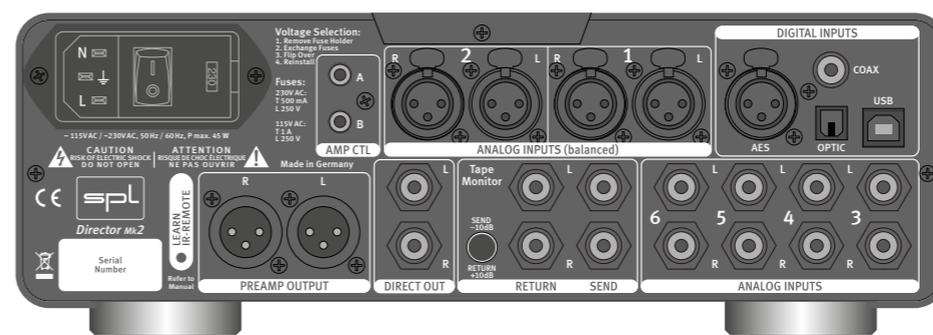
ようこそ

Director Mk2を選んでいただきまして、誠にありがとうございます。

Director Mk2はDirectorの後継機種です。新しいDACコンバーターはPCM768KHz/DSD4をサポートしています。2系統のXLRバランスインプットを含め、計6系統のアナログ入力を備えています。

アナログテープマシンやお好みのイコライザーなどの機材を接続頂けるTape INPUTを備えています。

VOLTAiRテクノロジーはSPL 120Vと呼ばれProfessional Fidelityシリーズにもその技術が用いられています。それ故Director Mk2では、広大なダイナミックレンジと、非常に美しい透明感溢れるサウンドをお楽しみ頂けます。



コンテンツ

さあ、始めよう	4	AMP CTL (Amplifier Control)	17
フロントビュー	5	Specifications	18
リアビュー	6	Inputs and Outputs	18
VOLTAiR – 120V Rail Technology	7	Analog inputs	18
比較	8	Digital inputs	18
操作	10	Sample rates 32 Bit	19
Source Selection, Mute, Remote	10	Outputs	19
Volume	12	Measurements	19
Tape Monitor	13	Internal Voltages	20
VU-Meter	14	Power supply	20
VUメーターの感度を下げる	14	Dimensions (incl. feet)	20
IR Remote Control	15	Weight	20
音量と入力ソースはIRリモコンを使用して遠隔操		Important Notes	21
作することが可能	15	Declaration of CE Conformity	21



さあ、始めよう

以下の各コンテンツをお読みいただくことで、Director Mk2の全体像を素早くご理解頂くことが可能です。

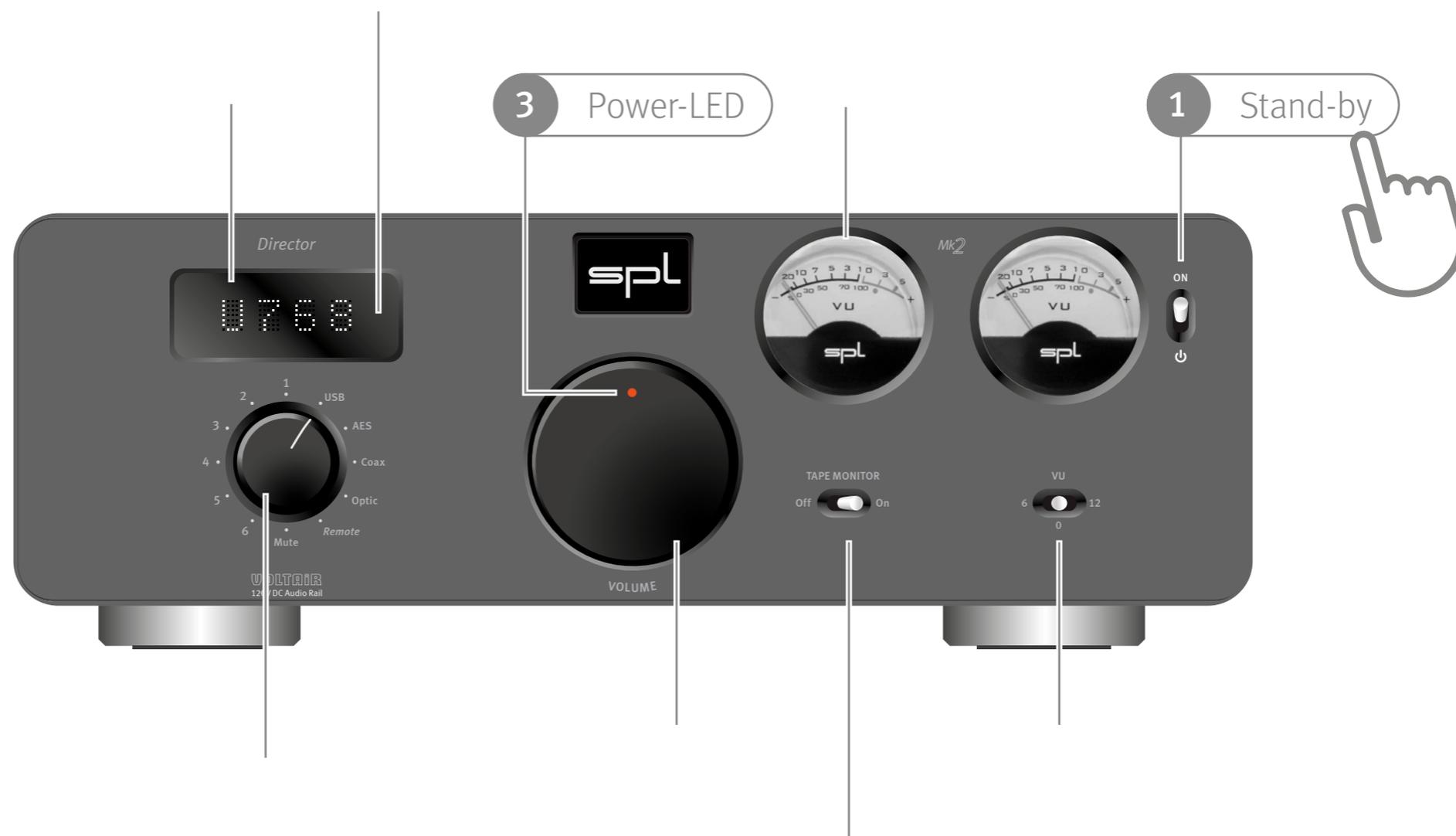
ここに表記の -ボタンを押して頂くと目次へジャンプします。

ここに表記の -ボタンを押して頂くとフロントビューへジャンプします。

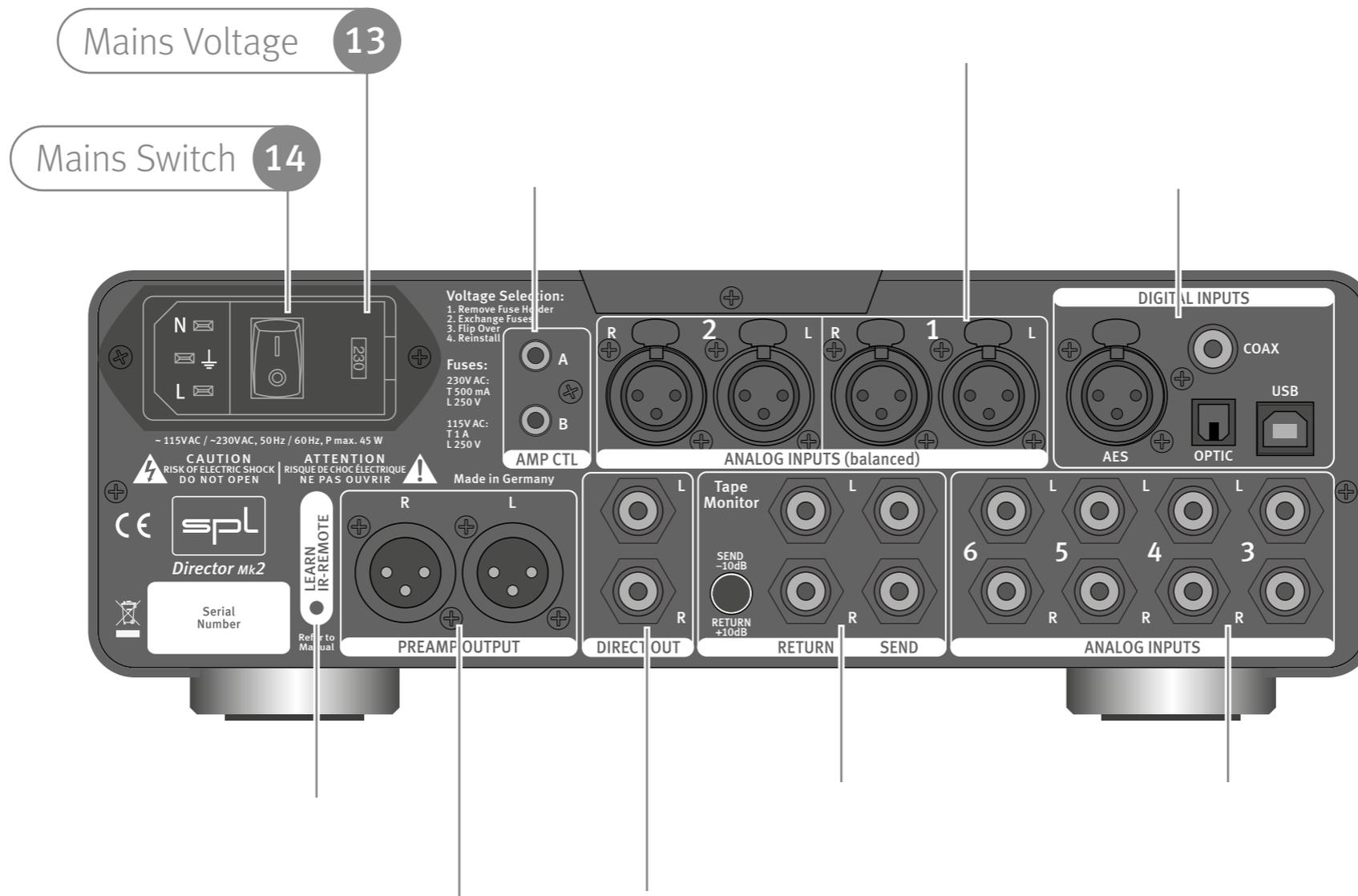
ここに表記の -ボタンを押して頂くとリアビューへジャンプします。

ここに表記の -ボタンを押して頂くと一つ前にご覧のページへジャンプします。

フロントビュー



リアビュー



VOLTAiR – 120V Rail テクノロジー

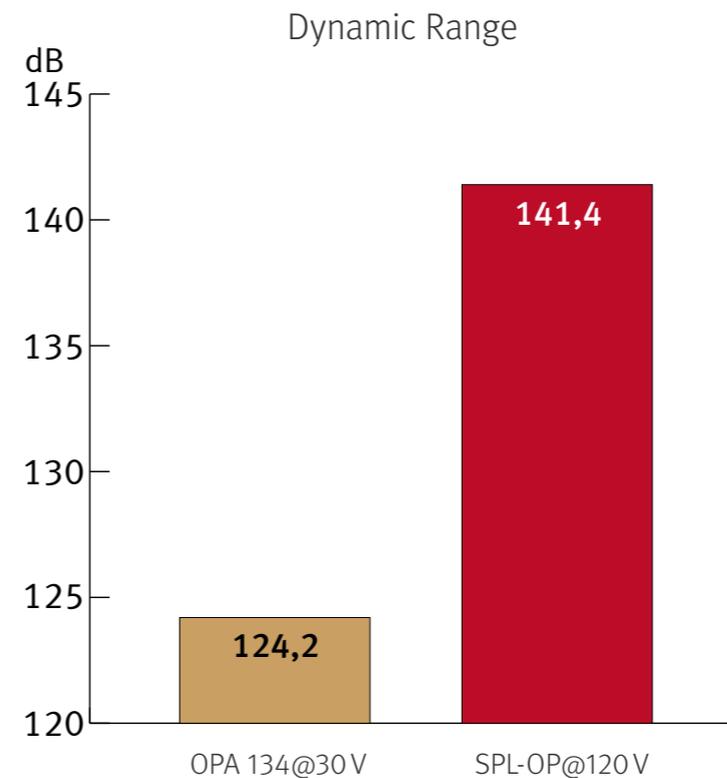
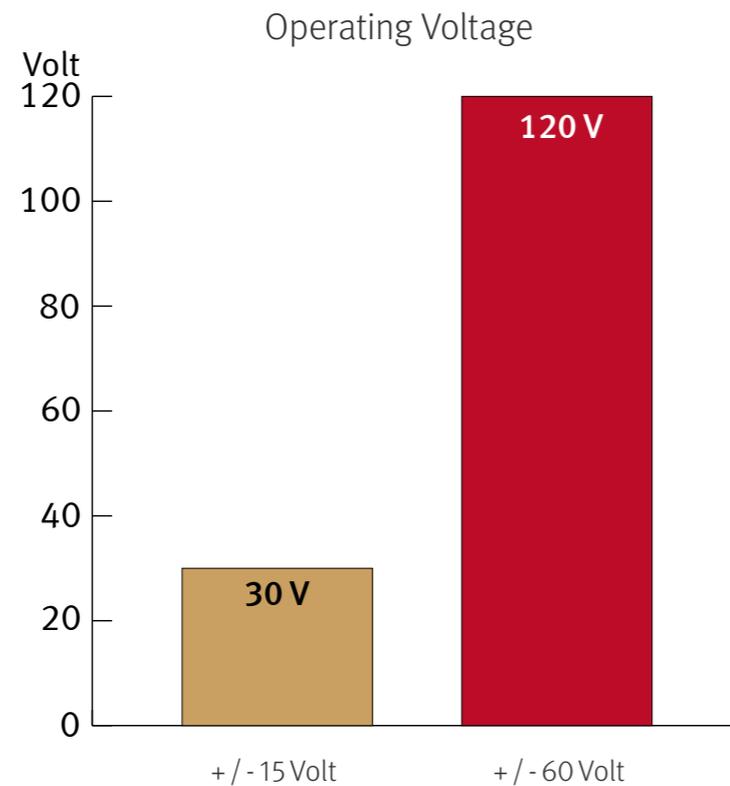
VOLTAiRは、Professional Fidelityシリーズにおける120Vレイルテクノロジーの同義語です。120Vレイルテクノロジーにおいて、オーディオ信号は比類なき $\pm 60V$ DCで処理されます、これはディスクリートアンプの2倍、半導体オペアンプの4倍に相当します。

120Vレイルテクノロジーは、卓越した技術及び音響性能を発揮し、巨大なダイナミックレンジとヘッドルームの観点から最高のディテイルを生み出すことで、余裕ある音楽再生を可能とし、これまでにない音楽体験を得られます。

SPLの120Vテクノロジーでは、 $\pm 60V$ DCにて音声処理が行われます。この電圧に関しては、実際に使用する100V電源とは異なりますので、混同されないようお気を付けください。

比較

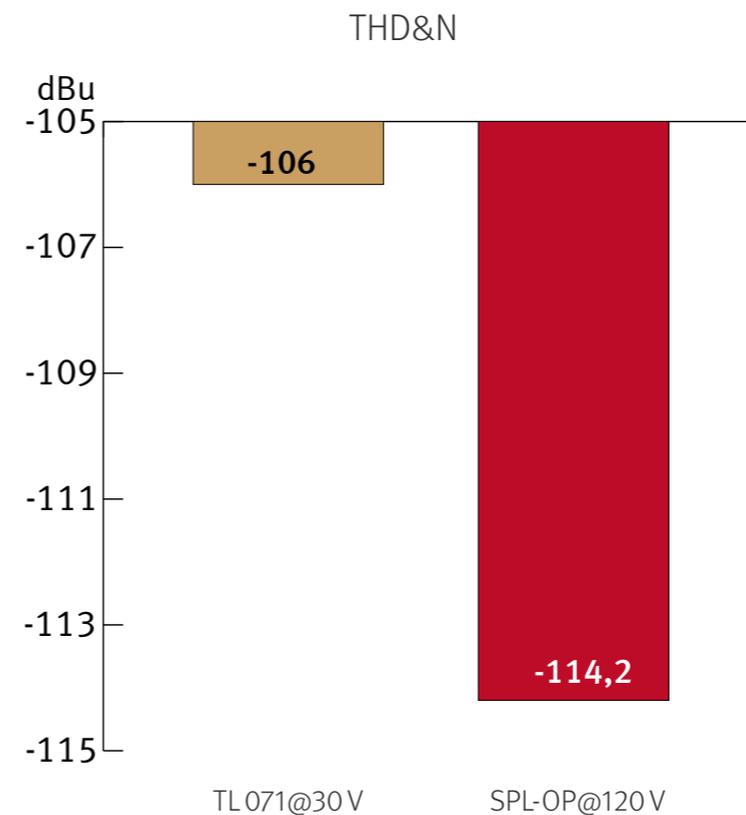
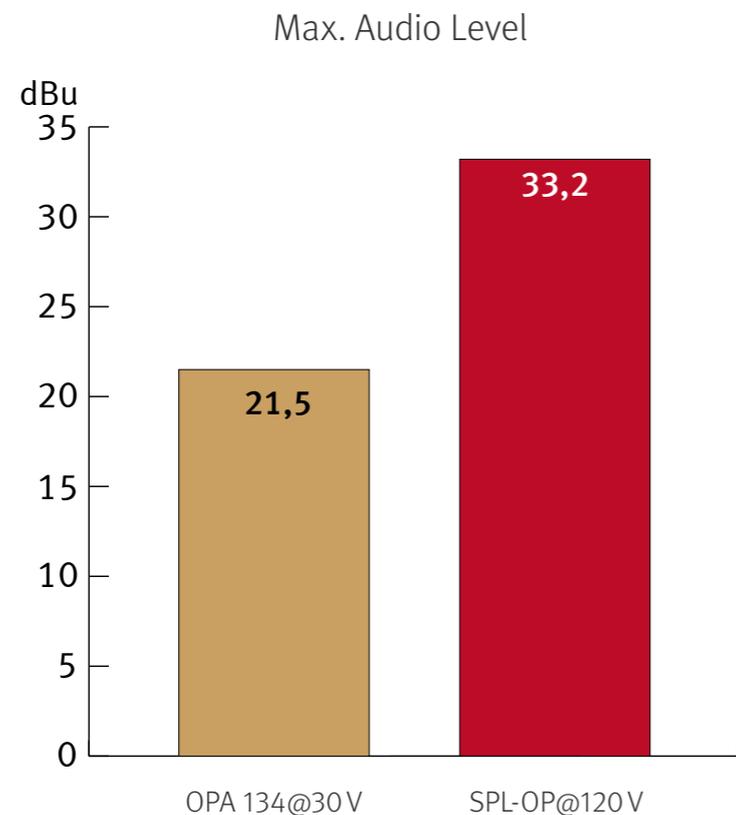
ここに示す表は、120Vレイルテクノロジーと一般的なオーディオ機器における比較です。動作レベルと最大レベルの直接的な関係は、分類・比較する上での基本的な考え方です。動作レベルが高いほど、回路が処理できる最大レベルも高くなります。また、実質的にすべての重要な音響および音楽パラメータがこの関係に依存するため、動作電圧が高くなると、ダイナミックレンジ、歪み制限、および信号対雑音比にもプラスの影響が発生することになります。



dBスケールは線形ではなく、指数関数的な増加を表しています。3dBの増加は音響的なパワーの倍増に対応し、+8dBは音圧レベルの2倍に対応します。更には+10dBは知覚されるラウドネスの2倍に対応しています。

音量に関して、120Vテクノロジーは、最大レベルとダイナミックレンジに関して、その値が約10dB高いことを考えると、一般的なコンポーネントや回路の2倍のパフォーマンスを発揮します。

THD測定では、内部電圧30VでのTL071と比較して8dB以上の差があります。これは、音圧レベルに関して、130%以上の改善に相当します。オーディオ機器に最も一般的に使用される動作レベルは+/-15ボルトです。



操作

Source Selection, Mute, Remote

SOURCE SWITCHを使用し、入力ソースの選択や出力のミュート、リモコンによる操作モードを設定することが可能です。

アナログ1-6およびデジタル入力から再生したいソースを選択します。

Muteポジションでは、画面にMUTEと表示され、一切の音が遮断されます。

ソース選択はIRリモコンを使用した遠隔操作にも対応しています。設定方法は15ページを参照して下さい。

デジタルソースを選択した際には、最初の2秒間は選択したソース名称が表示され、その後はソースの頭文字とサンプルレートの数値が表示されます。詳しくは次のページの表をご参照下さい。

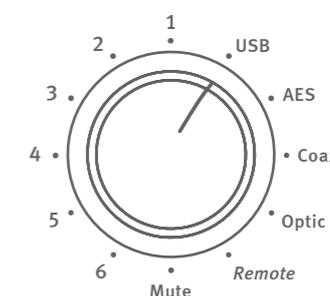


Table: Selected digital source displayed after two seconds

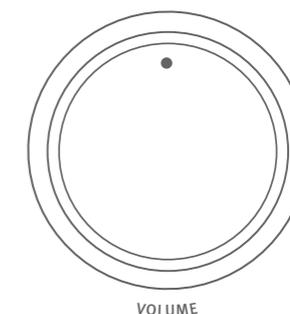
Digital source	Sample rate PCM (kHz)										Sample rate DSD (n * 44,1 kHz)		
	44.1	48	88.2	96	176.4	192	352.8	384	705.6	768	64 x	128 x	256 x
USB	U 44	U 48	U 88	U 96	U176	U192	U352	U384	U706	U768	DSD1	DSD2	DSD4
Optical	O 44	O 48	O 88	O 96	-	-	-	-			-	-	
Coax	C 44	C 48	C 88	C 96	C176	C192	-	-			-	-	
AES/EBU	A 44	A 48	A 88	A 96	A176	A192	-	-			-	-	

Volume

プリアンプアウト出力のボリュームを調整することが可能です。

ダイレクトアウトプットはヘッドホンアンプ等に接続しご使用下さい。
出力レベルは0dBfs=+15dBuとなります。

ボリュームノブは遠隔操作にてコントロールすることが可能です。
詳しくは15ページをご参照下さい。



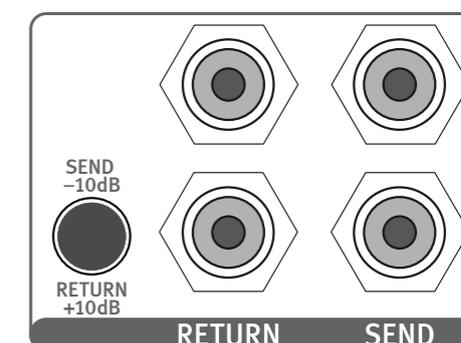
Tape Monitor

イコライザーなどの外部機器を接続することが可能です。

- LP盤からのテープマシンへの録音とモニタリング
- 外部機器による音のチューニング を可能とします。

SEND端子をお好きな機器へ接続し、そのリターンをRETURN端子へと接続してください。

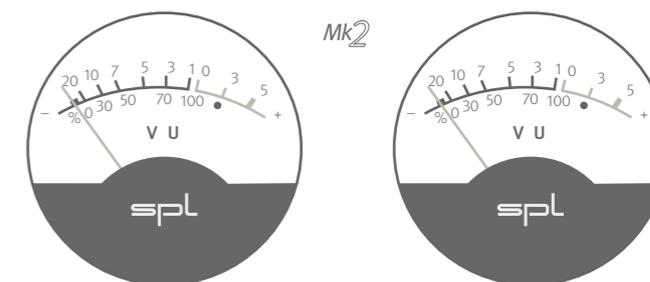
Director Mk2の出力が強い場合、その出力を10dB弱めることが可能です。この機能を使用した場合、リターンにて+10dBのブーストが掛かるため、最終的なボリュームの一定を保つことが可能です。



外部機器を接続していない場合には、Tape MonitorスイッチをONにしないでください。

VU Meter

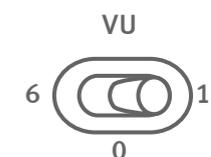
VUメーターは入力ソースの音量を-20 dBから+5 dBの範囲で示します。
0dBは+4dBに相当します。



VUメーターはBBCの基準に基づいてキャリブレーションされています。
0dBまでの立ち上がり時間は約300msです。

VUメーターの感度を下げる

VUスイッチを使用することでメーターの感度を6dB/12dB下げることが可能です。
+12に設定した場合、入力感度は+17dBとなります。



IR Remote Control

音量と入力ソースをIRリモコンを使用して操作することが可能です。

IRリモコンの4つのボタンを記憶させ、使用することができます。

たったの4ステップでセットアップを完了できます。登録できる操作は音量のアップ・ダウン、入力ソースの切替（次のソース・前のソース）の4機能です。

- LERAN IR Remoteボタンを画面に1/4が表示されるまで押し続けます。
- **Step 1/4:** IRレシーバーにリモコンを向けて、音量のアップに使用するボタンを押して下さい。
画面が2/4に切り替わり、次のステップへと進みます。
- **Step 2/4:** 次に音量のダウンに使用するボタンを押して下さい。
画面が3/4に切り替わり、次のステップへと進みます。



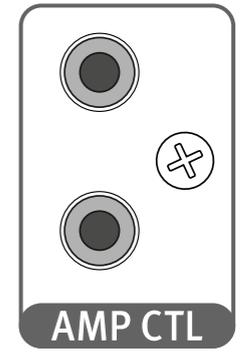
- **Step 3/4:** 次にソースの切替（次のソース）に使用するボタンを押して下さい。画面が4/4に切り替わり、最後のステップへと進みます。
- **Step 4/4:** 最後にソースの切替（前のソース）に使用するボタンを押して下さい。

学習モードは自動的に終了します。

注意事項: 直射日光やハロゲンランプなどの強い光を照射すると誤作動を起こす可能性がありますので、ご注意ください。

AMP CTL (Amplifier Control)

SPL製のパワーアンプを所有しておられる場合、AMP CTL端子をDirector Mk2と接続することで、スタンバイ切替をリンクすることが可能です。Director Mk2は最大2台のパワーアンプとリンクをすることが可能です。



Specifications

Inputs and Outputs

Analog inputs

- 6 analog stereo inputs
- 2 x XLR, balanced (10 kOhm)
- 4 x RCA, unbalanced (47 kOhm)
- Max. input level: +32,5 dBu

Digital inputs

- 4 digital inputs
- AES/EBU (XLR), balanced
- Coaxial SPDIF (RCA)
- Optical TOSLINK (FO6)
- USB (B)
- 0 dBFS = 15 dBu
- Converter Chip AK4490-Velvet Sound

Sample rates 32 Bit

- Encoded PCM (kHz): 44.1, 48 , 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384, 705.6, 768
- DSD: DSD1 (DSD64), DSD2 (DSD128), DSD4 (DSD256)

Outputs

- 2 analog stereo outputs
- Neutrik XLR, balanced, Pin 2 = (+)
- RCA, unbalanced (Direct Out)
- Impedance: 75 ohms (balanced)
- max. output level 32,5 dBu

Measurements

- Frequency range (analog): 10 Hz (-0.1 dB), 200 kHz (-1.2 dB)
- Crosstalk at 1 kHz: -108 dB (analog); -108 dB (digital)
- THD: 0.00992 % (analog 0 dBu); 0.0014 % (digital -1 dBfs)
- Noise (A-weighted): -102.5 dB (analog); -100.2 dB (digital)
- Dynamic range: 135 dB (analog); 115.2 dB (digital)

Internal Voltages

- Analog: +/- 60 V
- Digital: + 7 V und + 3.3 V

Power supply

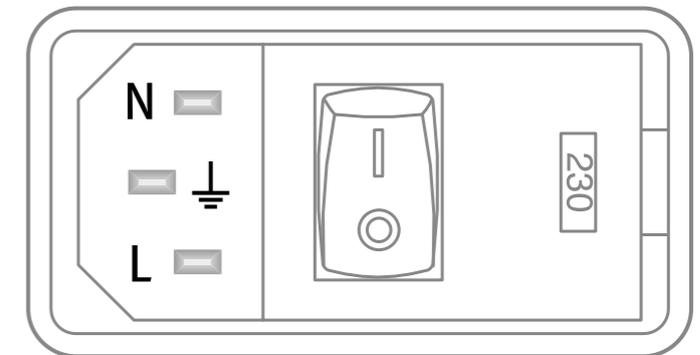
- Mains voltage (switchable): 230 V AC / 50 Hz or 115 V AC / 60 Hz
- Fuses: 230 V: T 500 mA; 115 V: T 1 A
- Power consumption: max. 40 VA
- Standby power consumption: 0.7 W

Dimensions (incl. feet)

- 278 mm W x 100 mm H x 330 mm D
- 10.95 in W x 3.94 in H x 13 in D

Weight

- 4.55 kg; 10.03 lbs (unit only)
- 5.7 kg; 12.57 lbs (shipping)



Important Notes

Version 1.0 – 06/2019

Developer: Bastian Neu

This manual includes a description of the product but no guarantee as for specific characteristics or successful results. Unless stated otherwise, everything herein corresponds to the technical status at the time of delivery of the product by SPL electronics GmbH. The design and circuitry are under continuous development and improvement. Technical specifications are subject to change.

© 2019 SPL electronics GmbH. This document is the property of SPL and may not be copied or reproduced in any manner, in part or fully, without prior authorization by SPL. Sound Performance Lab (SPL) continuously strives to improve its products and reserves the right to modify the product described in this manual at any time without prior notice. SPL and the SPL Logo are registered trademarks of SPL electronics GmbH. All company names and product names in this manual are the trademarks or registered trademarks of their respective companies.

Declaration of CE Conformity

 The construction of this unit is in compliance with the standards and regulations of the European Community.